

磨き合う緑陽

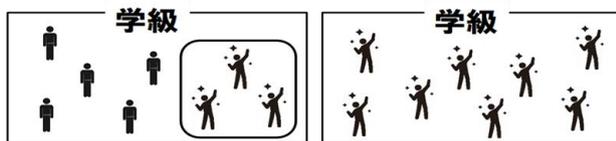
～「もっとよい自分」づくりを基盤として～

日曜	日課部活下校	学年	1日の流れ(生徒の活動)							校内関係 各種行事	備考
			1	2	3	4	5	6	放課後		
3月☆	45 × 14:55	1						／	／	朝) 生徒指導の話	給食 12:15～12:50
		2						／	／		ふれあい 12:50～13:10
		3						／	／		⑤時 13:15～14:00 清掃 14:10～14:20 帰りの会 14:30～14:45 最終下校 14:55
4火	50 × 16:10	1						授業	／	朝活) プライド活動に向けて(学級執行部)	給食 12:35～13:10
		2						総	／		ふれあい 13:10～13:30
		3						総	／		⑤時 13:35～14:25 ⑥時 14:35～15:25 帰りの会 15:35～15:55 最終下校 16:10
5水☆	50 × 16:30	1						学	／	⑥) プライド活動について考える	ふれあい 13:10～13:30
		2						学	／		⑤時 13:35～14:25
		3						学	／		⑥時 14:35～15:25 清掃 15:35～15:45 帰りの会 15:55～16:15 最終下校 16:30
6木	50 ○ 17:00	1						総	／		⑤時 13:35～14:25
		2						総	／		⑥時 14:35～15:25
		3						総	／		帰りの会 15:35～15:50 最終下校 16:00 部活 16:00～16:45 最終下校(部活) 17:00
7金☆	45 × 15:05	1						／	／		給食 12:15～12:50
		2				金5	金6	／	／		ふれあい 12:50～13:10
		3						／	／		⑤時 13:15～14:00 清掃 14:10～14:20 帰りの会 14:30～14:55 最終下校 15:05
8土		1									
9日	50 × 15:30	1						／	／		給食 12:35～13:10
		2						／	／		ふれあい 13:10～13:30
		3						／	／		⑤時 13:35～14:25 清掃 14:35～14:45 帰りの会 14:55～15:15 最終下校 15:30

冬季日課が終了したので、帰りの会が20分、最終下校までの時間が15分に戻ります。

一人一人の貢献があって学級の「プライド活動」となる

3年生のみなさん、右の図を覚えていますか？1年生の時に配付した週報で、プライド活動について説明した際に使用した図です。右と左の図がありますが、どちらが「プライド活動」か覚えていますか？1・2年生のみなさんはどちらか分かりますか？先生は、「プライド活動」の説明する時には、右の図を使って説明をします。



5日の6時間目に話し合う「プライド活動」は、自分たちがこれまでの歩みの中で大切にしてきたことや「これは私たちの学級の誇りだ!」と思える活動を磨き上げていくものです。その際に大切なことは、上の図の右側です。左側の図は「一部の人が達成感を感じています。一部の人の活動で達成できる活動では学級のプライドとは言えません。一人一人が活動の達成に貢献してこそ、右側の図になるのです。「プライド活動」を考える際には、「学級」としての活動を考えた上で、「自分自身」はどのように動いていくのか、を一人一人が考えることが大切です!

梅村亮介のちょっと真剣な話～「生活の記録にコメントを書くことがなくなり赤ペンの消費量が減った男のつづき」～

年度初めに「どうでもいい話を冊子にする」と考えていましたが、なかなか進まない梅村です。「行動」には大きく3つあります。「やりたいこと」「やらなければならないこと」「やれること」です。冊子化計画は「やりたいこと」であるため、優先順位は「やらなければならないこと」です。「(自分の役割として)やれること」が次に来ますので、「やりたいこと」はどうしても後回しになってしまうのです。今の3年生が卒業するまでには・・・厳しいかなあ。

昔に書いたどうでもいい話を読み直すと、その時の自分を思い出します。なんだかんだ言って、日記みたいになっているからです。数年前は「梅村亮介、家を買う」シリーズを書いていた気がしますし、子どもが小さい頃は帰宅してから洗濯物を干していたことを書いて保護者の方から「先生、それは続けなきゃいけないですよ!!」とか「こうやって洗濯をして干すと効率いいですよ」などのアドバイスをもらったこともありました。当時の記憶がいろいろ甦ってきます。みなさん、生活の記録は書いていますか？生活の記録も読み直すと当時の気持ちを思い出します。「20歳の集い」であった教え子はたまに読み直すと当時の気持ちを思い出して、「頑張ろう!」という気持ちになる、と言っていました。過去を振り返るといのは、過去に縛られるのではなく、過去を生かして今を輝かせるため、です。生活の記録をそんな素敵なものにしてください。